

「夏至」

あしのおやゆびの 息つく時はどんな
一人 カウンター ウィスキー ロックで
一人 台所 忘れられたアイス
恋人と他愛ない話してるとか

あしのおやゆびの 息つく時はどんな
一人 カウンター ウィスキー ロックで

長くつらなった 骨の先端
黙って 足主(ひと)に応えている

あしのおやゆびの 息つく時はどんな
物言わずタンポポ 眺めている
あしのおやゆびの 息つく時はどんな
物言わずタンポポ 眺めてる

壁掛け時計から 響く音を数えてる
足主(ひと)は 寝息を立てている

あしのおやゆびが 眠るのかどうか知らない
明日も黙って続けるか

突き抜けてヒレが生えて鱗に包まれて
突き刺すような光の下で泳ぎ去るかもしれないと

夢に見たのはわたし そんな日が来るかもしれないじゃないと
あしのおやゆびに言わせてみたい夜だよ

あしのおやゆびの 息つく時はどんな
一人 カウンター ウィスキー ロックで
一人 台所 忘れられたアイス
恋人と他愛ない話してるとか

あしのおやゆびの 息つく時はどんな
一人 カウンター ウィスキー ロックで